

Ⅱ 平成23年度教育委員会重点施策

1

生涯を通じた学習活動の推進 (P5)



- 多彩な学習機会の充実
- 学習活動推進体制の充実

■ 学社連携・融合事業 ■
(地元企業と連携した理科の実験)

2

個性を生かした学校教育の推進 (P6)

- 幼児教育の充実
- 小・中学校教育の充実
- 高等学校・大学等教育の充実
- 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上



■ 中学校の授業風景 ■

3

生涯にわたるスポーツライフの実現 (P7)



- 生涯スポーツの推進
- 競技スポーツの振興

■ 総合型地域スポーツクラブで子供たちが楽しく運動 ■

4

地域に根ざした市民文化の継承と創造 (P8)

- 芸術文化の振興
- 歴史文化遺産の保存と活用



■ 第57回 文化財防火デーの様子 ■
(県指定重要文化財・満照寺不動堂)

5

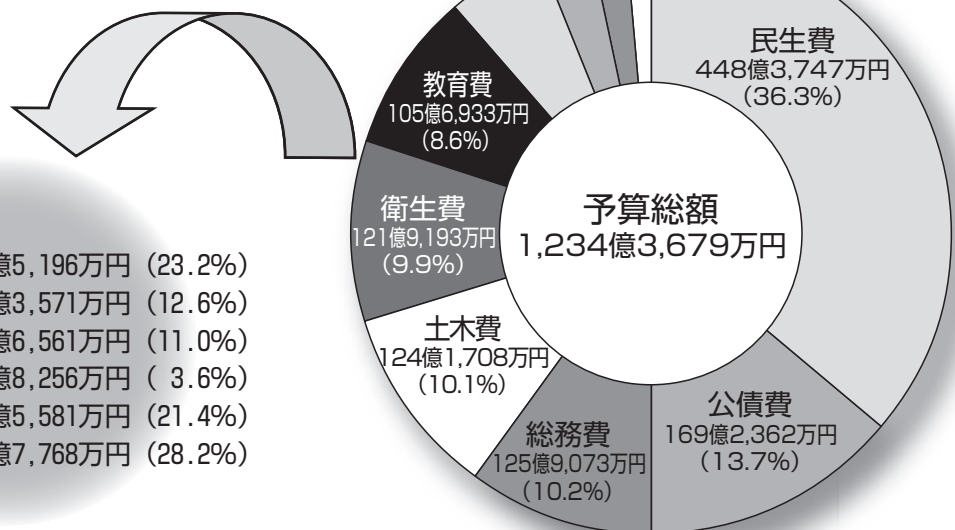
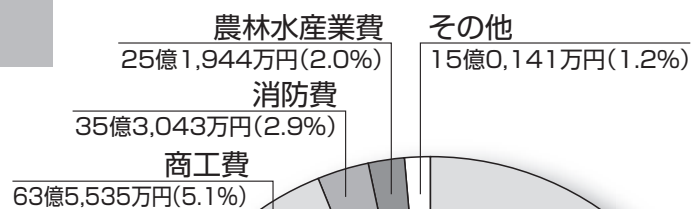
子育て支援の推進 (P9)

- 子どもが健全に成長できる環境の整備



写真左： ■ 小学生と幼稚園児との交流の様子 ■
写真右： ■ 子育てサポーター養成研修会 ■

平成23年度一般会計予算



教育費の内訳

教育総務費	24億5,196万円	(23.2%)
小学校費	13億3,571万円	(12.6%)
中学校費	11億6,561万円	(11.0%)
幼稚園費	3億8,256万円	(3.6%)
社会教育費	22億5,581万円	(21.4%)
保健体育費	29億7,768万円	(28.2%)

1 生涯を通じた学習活動の推進

近年、急激な社会の変化を背景に、人々の価値観やライフスタイルが多様化する中で、心の豊かさや生きがいなどを求めて、市民の学習ニーズは多様化し、高度化してきています。

本市では、平成3年3月に「いわき市生涯学習基本構想」を策定し、平成8年10月には「輝くいわき、学びあい都市宣言」を制定するとともに、これまでさまざまな事業を通して生涯学習の推進に努めています。

地域における生涯学習の拠点施設である公民館においては、各種講座の実施をはじめ、サークル等の活動の場として、多くの市民の皆様にご利用いただいています。また、生涯学習の中核的施設である「いわき市生涯学習プラザ」においては、市民大学の開催や生涯学習情報の収集・発信等を行うとともに、市民の交流の場として活用されています。

さらには、「いわき総合図書館」をはじめとする市内6図書館では、「第二期いわき市子ども読書活動推進計画」に基づく読書活動の推進や生涯学習時代にふさわしい多様な事業を展開するなど、生涯学習社会の形成と市民サービスの向上に努めていきます。



いわき市生涯学習プラザ
(第7回生涯学習フェスティバル)

いわき市における生涯学習の中核的施設として、生涯学習に関するさまざまな情報の提供、講座、講演会等の開催、人材育成、市民交流の推進など、生涯学習時代にふさわしい事業の展開を図り、市民の皆様への学習活動を支援しています。



図書館事業
(図書館職員の読み聞かせ)

いわき総合図書館では、ボランティアによる定例のおはなし会や見学に来た子どもたちに読み聞かせを行うなど、子どもたちが本に親しむ機会を提供し、読書活動の推進に努めています。

公民館事業 (ことぶき文化学園での講座)

各公民館では、地域の生涯学習活動の拠点として、市民の皆様の生涯の各時期に応じた学習活動の機会の充実を図り、特色のある事業を実施しています。

2 個性を生かした学校教育の推進

今日、学校教育においては、子どもたち一人ひとりに「生きる力」を育成することが求められています。

本市では、実践的な英語コミュニケーション能力の基礎の習得及び向上のため、外国語指導助手（ALT）を全小中学校に派遣し、語学指導の強化を図ってきました。さらに平成21年度からは、小学校の教育課程に「英語科」を設置し、豊かな国際感覚と英語によるコミュニケーション能力の育成を図ってきました。

また、悩みを抱える児童生徒のために、「スクールカウンセラー」、「心の教室相談員」、「適応指導教室」（チャレンジホーム）を設置し、指導や支援に努めています。

さらに、教職員の指導力向上のための研修や、学校教育に関する調査・研究などに努めて、学校・家庭・地域それぞれの教育力の向上を図っています。

なお、児童生徒が安全・安心に学べる教育施設の整備として、平成23年度には校舎の地震補強工事（小学校1校、中学校2校）や屋内運動場の改築工事（小学校1校、中学校1校）及び地震補強工事（小学校9校、中学校3校）を実施するとともに、学校規模の適正化に資するため、いわき市公立学校通学区域審議会などを開催しております。

基礎・基本の確実な定着



少人数などの個に応じた指導の工夫を図り、どの子どもにも確かな学力の定着を図っています。



‘子ども’‘親’‘地域’が輝く《子育て支援》のできる公立幼稚園を目指します。園開放などを通して、保護者が子育ての悩みを喜びに変えられるよう、支援します。

家庭・地域とつながる幼稚園教育と子育て支援

学校図書館教育推進事業



児童生徒の発達の段階や各学校の実態に応じた特色ある学校図書館づくりを推進しています。



ICT環境の整備充実により、調べ学習を通して児童生徒の情報活用能力の育成を図っています。

コンピュータ教育の推進

小学校における英語科の授業風景



平成19年度から全小学校で学級担任と外国語指導助手（ALT）がチーム・ティーチングによる英語の授業を行っております。



平成4年度から市内の不登校児童生徒に対して、学校とは異なる雰囲気の中、教育相談を受けながら、さまざまな体験を通して集団生活への適応を促し、学校への復帰を援助しています。

適応指導教室（チャレンジホーム）での活動

3 生涯にわたるスポーツライフの実現

本市では、市民が生涯にわたってスポーツを楽しむことができるよう生涯スポーツの普及に努めています。

各種「スポーツ教室」の開催やエアロビックフェスタ、いわきサンシャインマラソンといった「スポーツイベント」などを通して、生涯スポーツの普及と競技スポーツの推進に努めるとともに、いつでも・誰もが・いつまでも、地域においてスポーツ活動ができるように、総合型地域スポーツクラブの設立・活動を支援しています。

スポーツの普及を図るための施設の整備として、これまでに多目的スタジアムやテニスコート、体育館等を備えた「いわき南の森スポーツパーク」の建設や、いわき陸上競技場の大規模改修を行ってきました。また、大規模災害に備えて地区体育館の耐震化工事を行い、安心してスポーツが楽しめる体育施設を計画的に整備しています。



いわきサンシャインマラソン

健康志向の高まりなどの背景として年齢、性別などを問わず、一人でも気軽に参加できるマラソンを通して、生涯スポーツの推進に努めています。



スポーツ少年団活動の推進

子供の体力増進、健全育成等のため、スポーツ少年団活動を推進・支援していきます。

▲市内のスポーツ少年団が一堂に会するフェスティバルでの駅伝競走大会

体育施設の無料開放

「こどもの日」には、総合体育館を開放して、ニュースポーツ等に親しむ機会と健康増進の場を提供しています。



▲はじめてのカロリング。一度やってみると面白さがわかります

▼子供からお年寄までエアロビックで爽やかな汗



スポーツ教室

スポーツ教室を通して、市民が気軽にスポーツを行う場を提供するとともに、市民の体力の向上に努めています。

▶子供の体力向上を図るための親子なわとび教室



4 地域に根ざした市民文化の継承と創造

物質的な豊かさばかりでなく、心の豊かさを求める人々が増加している今日、地域に根ざした文化を創造するために、先人から受け継がれてきた文化財に対する理解を深め、その保存、継承に努めるとともに、市民による文化芸術活動を積極的に助長していくことが求められています。

本市では、市立美術館の企画展の開催や文化振興基金による市民の文化芸術活動への助成、「吉野せい賞」の実施などにより地域文化の振興を図っています。

また、市内の文教施設である「アンモナイトセンター」は中生代白亜紀の海底の様子を、「考古資料館」は旧石器時代から近代までの考古資料を、「暮らしの伝承郷」は江戸時代後期から明治時代初期の伝統的民家と農村の風景を、「草野心平記念文学館」は「草野心平生家」とともに心平の文学の世界をそれぞれ体験できる施設となっており、さまざまな時代や分野の「いわき市」を理解していただけます。

いわき市立美術館



常設展



コンサート／パフォーマンス 「杜のシリーズから、ハノメン」

戦後の現代美術を紹介する常設展と内外の優れた美術を紹介する企画展などの展覧会事業に併せて、講演会やワークショップ、コンサート等さまざまなスタイルの文化芸術の普及活動を行っています。

いわき市暮らしの伝承郷

伝統的民家、民俗資料、歴史資料などの保存、活用のための施設です。また企画展や、民家・田畑を活用した体験学習も実施しています。(写真は「キッズ民話語りの会」)



吉野せい賞表彰式

今年度で34回を迎える「吉野せい賞」は毎年11月に表彰式及び記念講演会を開催しています。



いわき市立草野心平記念文学館



企画展 「井上ひさし展」 ——吉里吉里国再発見——



企画展「草野心平と石」

文化勲章受章者でいわき市の名誉市民でもある詩人草野心平の業績を末永く顕彰する生涯学習施設です。常設展、企画展のほか、各種講座、行事を行っています。

市指定有形文化財 小名浜諏訪神社境内末社 人形六社神社本殿



本殿は、一間社流造トタン葺で、軒の組み方は和様、腰組の組み方は唐様の折衷様式です。龍の彫刻を多用しており、特に本殿周りの板壁をとおり抜けています。

特徴的な腰組の組み方で龍の彫刻を全体に取り入れた秀作です。

5 児童の健全育成と子育て支援の推進

さまざまな体験などを通して、自ら考え、他人と協調し、他人を思いやる心を育むため、青少年を対象とした公民館事業や「放課後子ども教室推進事業」などを実施し、子どもが健やかに成長できる環境の整備に努めています。

また、近年、児童虐待の増加や不登校といった問題が深刻化しています。こうした問題の背景として、都市化、核家族化、少子化、地域における地縁的なつながりの希薄化等により、親の間に、子育ての負担感や育児不安が増大し、家庭教育のあり方を見つめ直してもらう機会として、各小学校を会場に、新入学児童を持つ保護者を対象とした「子育て学習講座」が開催されています。

さらに、「いわき市総合教育センター」では、事業の一つとして、専門的教育相談員（医師や臨床心理士）による「子ども健康教育相談」を実施し、不登校や心身の発達等での支援を必要とする子どもやその保護者、教員からの相談に応じるなど、子育て支援の環境整備に努めています。



放課後子ども教室推進事業（23年度は御厩小で夏休み期間中に実施）

安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施しております。



青少年を対象とした公民館事業（平ジュニアチャレンジ）

協調性や自主性を養うとともに、学校や学年の枠を越えた仲間づくりをねらいとして料理、工作、スポーツなどの体験学習を実施しています。



子育て学習講座

新入学児童を持つ保護者を対象として、子育てやしつけなどの家庭教育のあり方を見つめ直してもらうため、家庭教育について考える機会を提供しています。